

肥銀オフィスビジネス DX計画

2026年4月14日



HigoBankGroup

肥銀オフィスビジネス株式会社



九州フィナンシャルグループ

Kyushu FG

1. 代表者メッセージ

2. DXビジョン

3. これまでの取り組み事例

4. DXで目指す姿

5. デジタル戦略

(1) 多様な選択肢、新しい体験によるサービス向上

(2) 健全な組織構築に向けた生産性・創造性向上

6. DXに向けた環境整備

(1) 人材開発

(2) システムインフラ

(3) 組織

7. KPI

1. 代表者メッセージ

私たち肥銀オフィスビジネス株式会社は、肥後銀行からの事務受託に加え、当社の企業理念である「創造的なサービスをお届けする課題解決企業として、地域の豊かな未来実現に向け、お客様と共に歩み続けます。」のもと、BPO事業、有料職業紹介事業および労働者派遣事業にも取り組み、お客様に高品質なサービスをお届けしております。



2026年4月14日
肥銀オフィスビジネス株式会社
代表取締役社長 小田 俊一郎

昨今、私たちを取り巻く環境は急速に変化しています。人口構造の変化や地域・企業の持続可能性への課題が顕在化する中、AIをはじめとするテクノロジーの進化は、2024年にDX計画を策定した当時と比べ、価値創造や社会の仕組みに大きな変革をもたらしています。こうした変化に対応し、未来に向けて持続可能な成長を実現するために、DXへの更なる取り組みが不可欠です。

このような環境のもと、私たちは2030年に向けたビジョン「オフィス・ワークとヒューマン・リソースの課題解決支援による地域価値共創企業」を実現するため、今年度新たな「肥銀オフィスビジネスDX計画」を策定しました。

2年前に策定したDX計画をより進展させ、肥後銀行の事務受託で体質化している「正確・迅速・丁寧」な事務品質をさらに高度化し、デジタル技術とデータ活用による「DX計画」の実践運営により、地域社会の価値創造に貢献してまいります。

九州フィナンシャルグループ ビジョン

お客様・地域・社員とともに、より良い未来を創造する「地域価値共創グループ」への進化

肥後銀行 中期経営計画

地域価値共創グループ実現へ向けての躍進

肥銀オフィスビジネス

企業理念

創造的なサービスをお届けする課題解決企業として、
地域の豊かな未来実現に向け、お客様と共に歩み続けます。

2030年ビジョン

オフィス・ワークとヒューマン・リソースの課題解決支援による
地域価値共創企業

DXで目指す姿

デジタル技術とデータの活用によりお客様の課題解決を支援し、
地域の持続可能性を共創していきます。

3. これまでの取組み事例

2024年に策定したDX計画に基づき、様々な取組みを行ってきました。

デジタル戦略

多様な選択肢・
新しい体験によるサービス向上



ホームページリニューアル

旧来のホームページではサービス内容の訴求力や検索流入が課題でした。「情報発信・お客様接点強化」を具現化する基盤として、セキュリティ面も担保するホームページをリニューアルしました。SEO対策やWEB解析によりアクセス数や問合せ件数が向上しています。

デジタル戦略

健全な組織構築に向けた
生産性・創造性向上



AI議事録の導入

会議後の整理や共有に時間を要しており、意思決定の速度や情報共有の精度が課題でした。「生産性向上」の取組みとしてAI議事録ツール導入したことで、議事録作成時間の削減や会議後の情報共有スピードが向上しています。

DXに向けた
環境整備

人材開発



IT人材の育成・外部IT人材の活用

ITパスポート取得者およびデジタル関連eラーニングの受講者は年々増加しており、社内全体のITリテラシーが底上げされています。また、外部IT人材の活用として副業者を採用し、請求業務の改善など必要な専門知識やスキルを社員で共有しています。

KFGグループのパーパス実現のために、肥銀オフィスビジネスは『デジタル先進企業』を目指し、その実現に向けた変革に全社を挙げて取り組んでいきます。

DXで目指す姿

デジタル技術とデータの活用によりお客様の課題解決を支援し、地域の持続可能性を共創していきます。

デジタル戦略

多様な選択肢・
新しい体験による
サービス向上

- 情報発信・お客様接点強化

健全な組織構築に向けた
生産性・創造性向上

- 業務プロセス改善
- マネジメント強化

人材開発

- IT人材の育成・採用
- 外部企業との連携

システムインフラ

- クラウド活用
- セキュリティ対策

組織

- 全社的なDX推進
- デジタル・イノベーション委員会の設置

DXに向けた
環境整備

(1) 多様な選択肢、新しい体験によるサービス向上

● 情報発信・お客様接点強化

ソーシャルメディアの活用



ソーシャルメディアを活用し、お客様との直接的なコミュニケーションや情報発信を行います。目的やお客様に合わせて、定期的な投稿を行うことでブランドの価値を伝え、情報を共有し、お客様とのエンゲージメントを深めます。

コンテンツマーケティング



ウェブサイトにてホワイトペーパー、ウェビナーなど、価値あるコンテンツを作成・共有し、お客様との信頼関係を築き、自社の専門知識を示し、ウェブサイトへのトラフィックを増加させるとともに、ブランドの信頼性を高めます。

チャットボットの導入



チャットボットは、365日のお客様サポートを提供することが可能です。また、お客様の問い合わせに対する応答を通じてお客様のニーズをより深く理解することができます。

(2) 健全な組織構築に向けた生産性・創造性向上

● 業務プロセス改善

CRM/グループウェアの徹底活用



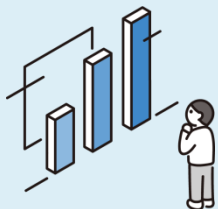
お客様情報の一元管理、業務効率化、コミュニケーションを強化します。社内で情報をリアルタイムに共有し、お客様との関係を深化させるために、これらのツールを活用します。

派遣業務管理システムの導入



派遣業務の拡大に伴い、自社システムを作成します。派遣者情報をデータベース化することで、スキルや経験の一元管理を行います。データ分析結果から適切な人材配置を効率的に行い、業務効率化とサービス品質向上に寄与します。

データ連携



各部門やシステム間のデータ連携を実現します。情報の一元管理することで、業務効率化・データ分析を加速させます。

AI活用の検討



DX推進におけるAIの活用は、ビジネスの効率化、自動化、予測分析など多岐にわたります。業務のデータ分析などを含めコア業務・ノンコア業務への活用を検討していきます。

(2) 健全な組織構築に向けた生産性・創造性向上

● マネジメント強化

業務管理システム（工程・案件管理）



クラウドベースの管理ツールを活用することで、情報の一元化と共有、リアルタイムでの更新、スケジュール管理の効率化が可能になります。さらに、過去のデータから最適な工程を予測するなどのデータ分析で、生産性と効率性を高めます。

人事データベースの整理・再構築



これまでの人事管理システムを新たなクラウド型人事管理システムに刷新することで、効率的な人材管理・配置、能力開発、パフォーマンス評価など、データベースを再構築します。従業員のスキル、キャリアパスなどの情報を一元化し、適切な人材戦略の策定と組織全体の働き方改革に結びつけます。

(1) 人材開発

● IT人材の育成・採用

IT関連資格の取得

資格取得者率向上のため、指定の資格を取得した際の奨励金制度を導入します。

eラーニングの導入

動画コンテンツを利用した学習機会を増やし、ITを活用した課題解決能力を高めます。

● 外部企業との連携

外部企業との連携・協働によるノウハウの獲得

外部企業と連携することで、自社にはない専門知識やスキルの獲得を目指します。

IT人材の積極採用

ITリテラシーの高い人材、IT最新技術の感度が高い人材、学習意欲がある人材の採用を推進します。



外部企業との定期的な情報交換の実施

外部企業の成功事例を参考にし、自社のDX戦略に落とし込みます。

(2) システムインフラ

●クラウド活用

社用端末のクラウド環境整備

社用端末（ラップトップパソコン）をクラウド環境で整備することで、最新AIの利活用を推進します。

紙帳票の更なるデジタル化

紙運用となっている台帳を電子化します。

●セキュリティ対策

端末のセキュリティやネットワーク監視の強化

IT関連部署やセキュリティ専門会社の指導の下、最新のセキュリティ対策を行います。

外部クラウドを活用した業務系システムの拡大

新たなクラウド型人事管理システムに刷新することで、適切な人材戦略の策定と組織全体の働き方改革に結びつけます。



顧客データの保護とセキュリティ確保

Pマーク維持、世界基準の個人情報保護を実行します。

(3) 組織

- 全社的なDX推進
- デジタル・イノベーション委員会の設置

デジタル・イノベーション委員会

体制

- ・委員長：代表取締役
- ・構成員：業務本部長・総務本部長・総務部長・リスク統括部長・委員長が指名する者

方針

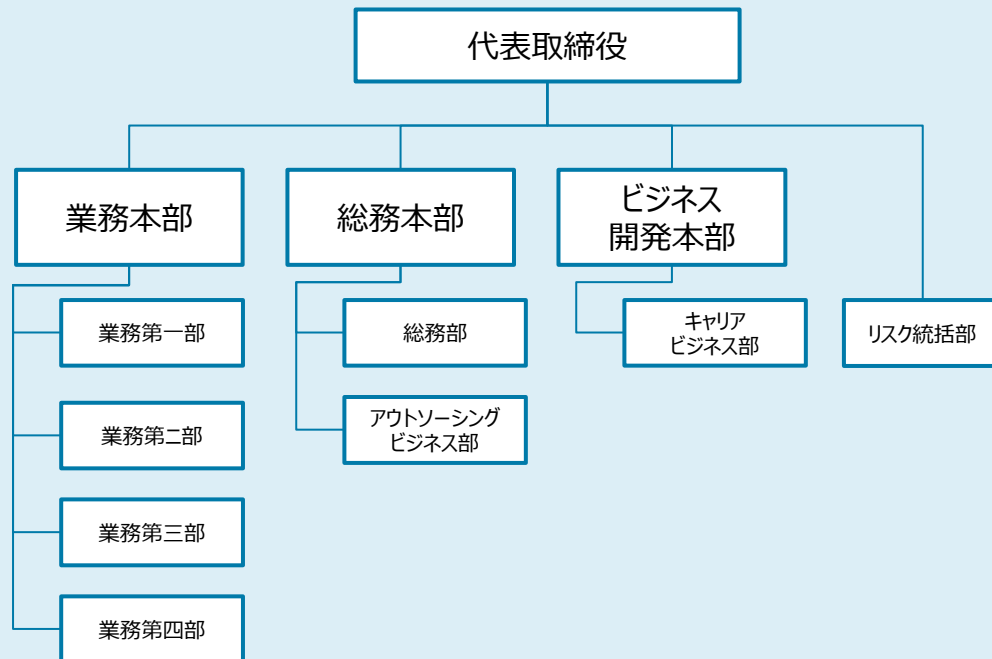
- ・デジタル技術に関連する調査・企画・提案等について、DX計画の実現に向けた施策と進捗を確認

開催

- ・原則、四半期1回（必要に応じて都度開催）

【グループ会社】
九州デジタル
ソリューションズ

ITベンダー等
外部組織



項目	指標	2027年度
多様な選択肢、 新しい体験によるサービス向上	ソーシャルメディアによる情報発信件数	36件/年
	ウェブ解析による効果測定回数	12回/年
健全な組織構築に向けた 生産性・創造性向上	派遣社員管理システム稼働率	100%
	1人当たりの総労働時間数	40時間減
	データ分析件数 (派遣社員管理システム稼働率・総労働時間数)	24件/年
DXに向けた環境整備	eラーニング講座実施件数	20講座/年
	社用端末のクラウド環境整備	5台
DX推進指標	DX推進指標の向上	1.0ポイント以上の向上

以上



HigoBankGroup

肥銀オフィスビジネス株式会社



Kyushu FG

九州フィナンシャルグループ